

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<b>&lt;研究課題名&gt;</b> 癒着形成重症度スコアリングシステム (Toranomom adhesion score [TORAD score]) を用いた腹腔鏡下再肝切除における技術的難易度評価の研究：腹腔鏡下再肝切除時の後方視的手術動画レビューの研究
<b>&lt;研究機関・研究責任者名&gt;</b> 日本大学医学部外科学系消化器外科学分野（附属板橋病院消化器外科）（研究責任者） 岡村 行泰
<b>&lt;研究期間&gt;</b> 承認日 ～ 令和 9（西暦 2027）年 6 月 30 日
<b>&lt;対象となる方&gt;</b> 西暦 2016 年 4 月 1 日～西暦 2025 年 3 月 31 日の期間に腹腔鏡下再肝切除術を受けられた方
<b>&lt;研究の目的&gt;</b> 腹腔鏡下再肝切除時の癒着形成の重症度を評価し、さらに癒着剥離の技術的難易度や術後合併症との関連を評価することを目的とする。
<b>&lt;研究の方法&gt;</b> 本研究では、腹腔鏡下再肝切除時の癒着形成の重症度を TORAD score を用いて評価し、さらに癒着剥離の技術的難易度や術後合併症との関連を評価することを目的とした多施設共同の探索的観察研究である。
<b>&lt;研究に用いる試料・情報の項目&gt;</b> 患者背景因子、腫瘍因子、血液検査、手術記録、麻酔記録、診療経過らの情報。
<b>&lt;お問い合わせ窓口&gt;</b> 虎の門病院消化器外科（東京都港区虎ノ門 2-2-2） 消化器外科 氏名：大久保 悟志/進藤潤一 電話：03-3588-1111（PHS）7305

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方

虎の門病院で本研究を実施するにあたり補足開示情報

〈診療情報を虎の門病院外へ提供する場合〉

診療情報は虎の門病院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、日本大学医学部外科学系消化器外科学分野にメールにて送付します。

〈虎の門病院における研究責任者および研究機関の長〉

研究責任者：消化器外科・進藤潤一

研究機関の長：院長 門脇 孝

〈共同研究機関および研究責任者〉

No.	研究機関名	研究責任者	
		所属	氏名
1	日本大学医学部	外科学系消化器外科学分野	岡村 行泰
2	虎の門病院	消化器外科	進藤 潤一
3	がん・感染症センター都立駒込病院	肝胆膵外科	脊山 泰治
4	埼玉県立がんセンター	消化器外科	高橋 遍
5	東京科学大学	肝胆膵外科	伴 大輔

〈お問い合わせ窓口〉

ご自身またはご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので 2026年3月31日 までの間にお問い合わせ窓口までお申し出ください。